

平成31年度予算見積調書

課室名：薬務課

担当名：総務・温泉・薬事相談担当

内線：3624

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B99	薬局のかかりつけ機能強化推進事業		一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			宣言項目 分野施策	010204 生涯を通じた健康の確保	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>平成27年10月に策定された「患者のための薬局ビジョン」の実現を目指し、地域包括ケアシステムを支える機関の一つである薬局のかかりつけ機能の強化を図る必要がある。</p> <p>そこで、認知症対応薬局の推進、ポリファーマシー（多剤併用による薬物有害事象）対策の推進等の事業を実施する。</p> <p>(1) 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 4,900千円</p>			<p>(1) 事業内容 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 4,900千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 認知症対応薬局の推進 今後急速に進展する高齢化を見据え、薬局での窓口対応で薬剤師が認知症の疑いのある人に早期に気づき、受診を勧めたり、地域包括支援センターやかかりつけ医などと連携したりすることにより、早期に対応できる体制を築く。 そのため、県福祉部が平成28年度から（一社）埼玉県薬剤師会に委託して実施している「薬剤師認知症対応力向上研修会」の資料等を活用し、地域薬剤師会で研修を行う。 また、地域ケア会議等の機会をとらえて多職種と顔の見える関係を強化する。 イ ポリファーマシー対策の推進 複数の疾患を抱え多剤を処方される高齢者を対象に、保険者、医師及び薬剤師が連携してポリファーマシー（多剤併用による薬物有害事象の発生）対策を実施することにより、患者本位の安全な薬物療法と医療費の適正化を推進する。 平成31年度は平成30年度に朝霞地区で実施したモデル事業の結果を踏まえ、地区を増やしてモデル事業を実施する。</p>					
2 事業主体及び負担区分			(3) 事業効果					
(1) (国10/10)			<p>ア かかりつけ医や多職種との連携体制整備によるかかりつけ薬剤師・薬局の機能の強化</p> <p>イ 患者の服用する薬の種類や残薬の減少、アドヒアランスの向上 ⇒患者の副作用の軽減、患者と保険者の経済的負担の軽減 ⇒患者本位の安全な薬物療法の確保、医療費の適正化</p>					
3 地方財政措置の状況			(4) その他					
なし			国庫委託事業であるため、終期を設定することはできない					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×1.4人=13,300千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金						
決定額	4,900	4,900					0	
前年額	4,900	4,900					0	